春風秋霜 2月号

令和２年２月１日
島田市教育委員会だより
教育長　濱田和彦

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む　　佐藤一斎

１　一人１台端末導入について

島田市では、新聞で報道されたように、一人 1 台端末の設置事業をスタートさせます。12 月末に文部科学省からの連絡後に検討が始まったこの取組は、国の補助を受けるために本年度予算で校内通信ネットワークを整備することや、端末の補助は 1 台 45,000 円を上限にするなど、厳しい条件があります。しかし、ここで決断しないと補助金が受けられなくなります。また、近隣市町も設置に向け動き始めているので、島田市でも遅れないように設置することとしました。

私は、この ICT 環境の整備は、授業改善に直結するものだと考えています。例えば、紙に書き込んでいた授業のまとめをパソコン上で処理すれば、何度も簡単に修正できるし、映像や図表の添付も容易です。拡大も自由にできるので、プレゼンテーションも有効にできます。ホワイトボードや小黒板を利用していた発表もパソコンを使用すれば効率よくできます。

『Can do リスト』を作成して、市内の機器活用のレベルを確保することも必要だと考えています。小中一貫教育を進めるためにも、このような活用技能の確保が求められます。すでにタブレット等を活用して様々な取組を行っている学校があります。そのような例を参考に、全校が今からできることに挑戦してほしいと思います。

２　田代の郷スポーツレクレーション公園の開園について

大型遊具を設置した新しい公園が、３月 29 日（日）に伊太和里の湯の横にオープンします。多くの方々が参加したワークショップや、子供や地域の方々などによる芝の植栽などが形となります。また、多くの子供たちが応募した公園名の愛称も決まりました。

親子を中心に様々な年代の方々が楽しんでいただける公園になったと思います。２月になれば概観はほぼ完成します。広報しまだでもお知らせしますので、楽しみにしていただきたいと思います。駐車場もありますから、たくさんの方の来場を願っています。

遊具の外観

幼児用遊具

３　成人式を終えて

令和２年の成人式が、１月 12 日（日）に行われました。幸い穏やかな天候に恵まれ、参加率は昨年に比べ、＋2.5％の 72.8％でした。私が経験した７年間の中では最も平穏な式でした。

アトラクションのフルート演奏や三味線演奏も成人の皆さんの心に残るものだったと思います。また、多くの先生方に協力していただき、恩師との交流会も参加者の心に残ったと思います。恩師のメッセージにも協力していただき感謝申し上げます。

例年になく穏やかな式になったのは、各中学校の先生方が入り口付近で待機し、成人の皆様に声掛けを行ってくれたからだと思います。そのため、大きなトラブルも無く、式の終了後、駐車場でお酒を飲んでいた若者達が片付けまでしてくれたのだと思います。

しかし、今年も飲み過ぎのため意識を失った若者を救急搬送しました。私の教え子の一人は、大学１年の５月に歓迎会コンパで飲み過ぎ、亡くなっています。お酒も飲み方によっては命にかかわります。先生方には、子供たちに急性アルコール中毒の怖さを教えていただきたいと思います。

４　学校訪問から

１月 20 日で市内全校の学校訪問が終了しました。全体的にはどの学校も大変安定していたと思います。当日には見えなかったご苦労をなさっている学校もあったと思いますが、今後もよろしくお願いします。

金谷中学校では 16 学級中半分以上の授業で教育機器を効果的に使っていました。六合小学校では６年生がパソコン室でエクセルの活用を学んでいました。多くの学校において、昨年以上に ICT などの教育機器の活用が進んでいることをありがたく思いました。

金谷中学校での「自己肯定感だけが高くても実力が伴わないと中学校生活に苦労する」という話や、「実態調査の高い達成度に安心することなく、達成できていない少数派にも目を向けて指導している」という六合小学校の話は、小中で共有すべき課題だと思いました。

また、校長先生の自己目標シートを読ませていただくと、安定した現状に満足することなく、積極的な姿勢で学校経営を行おうとしている様子が伺われました。学校が荒れると、目の前の事件への対応に追われ、授業改善など本質的な教育活動の改善が難しくなります。安定している時だからこそできることがあるという積極的な意識でこれからもよろしくお願いいたします。

肘かけ椅子

原　喜恵子　教育委員

「子年生まれの義母」

義母は大正 13 年生まれの今年 96 歳。娘の頃は和裁と洋裁の学校に通い、和服も洋服も自分で仕立てる技術を身に付けました。96 歳になった今も、曾孫の保育園で使うものや家族の繕い物など「目がよく見えなくて上手に縫えないよ。」と言いながらも縫い上げてくれます。

義母は子年の人によく言われる忍耐強さや真面目さを持った人です。私が仕事に出ていた時、子育ても含め家のことすべてを義母に頼っていましたが、愚痴一つ聞いたことがありませんでした。ですから、私が退職したら義母には家事から離れゆったりと過ごして欲しい、少しは楽をして欲しいと思いました。

私が退職し家のことをやるようになると、義母の「何もやることがなくてつまらない。」と言うつぶやきが耳に入るようになりました。90 歳近くまで洗濯や食事の準備などをやってきた義母にとって、ただ座っているだけの毎日は張り合いのない日になっていたようでした。夫も「今まで元気に過ごしてこれたのは、家族のために働いてきたから。これからもできることはやってもらったほうがいいよ。」と言ってくれ、今は私と一緒に洗濯物を畳んだり、食器を片づけたりとできることをお願いしています。

義母のすごいところは、自分の体の管理です。足腰が弱くならないようにとお風呂の中でのマッサージや体操などを 10 年以上前から毎日続けています。時々ふらつく足元に「情けない」と言いながらも、心の中では「負けるものか」の気持ち一杯です。そんな義母を見ていると、最近お医者さん通いの増えている私の方が本当に「情けない」と思ってしまいます。